



1.課題

【理科の学習は覚えることが多い】

→記憶に残りにくい、時間がかかる

【勉強を負担、苦手と感じてしまう人が多い】

→本や教科書とは違い、ゲームを融合させたツールを取り入れることで没頭して楽しくできるのではないかな

2.解決策

【トランプを使った学習ツールの作成】

→トランプを使うことで小学生からでも遊ぶことができる

→トランプに独自のバトルゲームを考えることでより理解の深まる遊び方が可能に

→きれいな写真をトランプに取り入れることで置物として飾ることができ日常的に目に入るようになり記憶に残りやすくなる

3.計画

①カードゲームにのせる鉱物の写真を用意し、撮影する

②トランプのデザインを決める

③トランプに必要な情報をデータ化してまとめる

④クラウドファンディングで必要な資金を集め、リターンにも鉱物トランプをいれる

⑤集まった資金でトランプを印刷して、発送する

⑥鉱物トランプで実際に遊んでもらう

4.目標

鉱物トランプを通して鉱物の面白さ、楽しさを知ってもらい、苦手意識を減らしてもらい

→鉱物から派生して理科の分野の勉強や進路への**第一歩として活用**してもらいたい

5.行動



【**鉱物トランプを開発、作成した**】

→鉱物トランプjoker含む54枚全て違う種類の鉱物

→現在までに日本語、英語、スペイン語の3種類作成

【**クラウドファンディングの実施**】

→過去行ってきたすべてにおいて目標金額達成

【**広報活動**】

→インスタグラムを活用し、開発段階から鉱物トランプについて紹介した

【**イベントの実施**】

→実際に自分でオフラインイベントを開催して、参加者の方々と楽しくトランプで遊びたくさんの意見の感想をもらうことができた

6.結果

- ・イベント開催を通して繰り返し鉱物について語り合うことができ、参加者の方々から鉱物について教えたり、教わったりの連続で学習効果を高めることができた。
- ・鉱物トランプというメディアを通し、鉱物についてよりたくさんの人に興味を持ってもらうことができた。

7.結論・展望

結果から鉱物トランプは学習ツールとしてとてもよいものであったとわかった。

- ・これはある意味科学的コミュニケーションツールのひとつとして捉えることもできると考え、鉱物に限らず元素記号や化学式といった別の科学分野の情報を対象としてトランプ化することの意義を見出すことができた。
 - ・現時点ではトランプは紙媒体だが、これをデータ化して電子機器上でもプレイできるようにすることでより多くの人を対象とした学習ツールとしての新たな可能性ができる。
- オンラインで実現できれば、日本語圏、英語圏含め様々な言語を使いプレイすることが可能になり、科学学習にプラス言語学習の第一歩として使うことも可能になる。